

ウィークリーニュースレター5号 2022

<レジ袋の有料化で各店の対応が分かれる>

2020年7月からスタートしたレジ袋の有料化。弊社のお客様も対応が分かれています。今週はそんな各店の対応をご紹介します。

① 「無料」で使用するタイプのレジ袋

- バイオマス：25%以上を使用しているためお客様に聞くこと無く使用する
- デメリット：お客様から「無料でいいの？」と聞かれる
- メリット：有無を聞かずに販売できるのでルール改定前の変わらないオペレーション

② 「有料」で使用するタイプのレジ袋

- バイオマス：25%以上を使用しているがスーパーやコンビニ同様お客様に有無を聞く
- デメリット：毎回お客様に有無を聞くので接客に時間を要する
- メリット：ルール前は全てコストが今はお客様に負担してもらうので原価は下がる

<ルール前にPBで大量に製造してしまったお店の対応>

弊社のお客様の多くは①です。やはり接客時間を短縮することのメリットが大きいのだと思います。しかし仕方なく②になってしまったお店があります。理由はPBです。レジ袋をお店の名入れにしたためバイオマス25%のルールに適應していないお店があります。そこでポリ袋に目を向けました。ポリ袋はレジ袋より安い。強度は低いけど無料で使用できる。そしてお客様もスーパーのサッカー台で使用しているので無料の意識が高い。お互いが遠慮なく使える袋だったのです。そして一番単価の安いのがこのタイプでした。

サッカー台にあるロールタイプです。1枚1円前後です。

ネットで購入すればもっと安く購入することが可能です。

またレジ袋を撤廃してポリ袋1本というお店もあるようです。

ポリ袋で渡すとお客様の反応も自然と自身のバッグへ入れています。レジ袋を使用しない習慣が広がっているのを実感します。原材料が高騰するなかで包装資材の見直しも必要なのかもしれない。



<白絞油のスポット価格情報>

原材料高騰が続く昨今。今回はスポットで白絞油の特価品が出てきました。安く提供できる理由は仕入先の商社が大量に仕入れてメーカーとのパイプ強化のためです。賞味期限が近いわけではありません。お知り合いの飲食店や惣菜店、お弁当屋さんなどにご紹介いただいても問題ありません。100缶限定での価格です。

※リノール大豆白絞油日清オイリオ 一斗缶 4,900円(税別)



売る美学®



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ